

児島湖流域で 5600人清掃活動

こみ27トンを収集

児島見沼湖流域6市一環域保全対策推進協議会(会長・古兵衛博嗣)は、町をまたがる同流域(会)

那)そばの会場には330人が集合、火ばさみや熊手をを使って草むらなどに落ちていたゴミを回収した。木片などを拾い集めた。父親と初めて参加し

LED電球信

8割以上

県警、ドライ

県警は四山市内3カ所の交差点で、信号機(タイオード)電球に交の実証実験結果をまと



実証実験のため、県庁内LED電球信号機

研究内容を公開

料を貸し出すほか、学内の公開セミナーを案内したり、その内容をまとめた動画をインターネットで見られるようにする。(阿部光希)

助産師掘り起こし、技術向上へ

岡山大学院保健学研究科は、休職中の助産師の掘り起こしや現職のスキルアップを目的に、研究内容を教材として広く公開していく事業に乗り出した。登録者を募って資

岡山大大学院が新事業

8月末から56人が登録した公開セミナーの動画、助産師以外に保健師、助産師などを出産・育児に悩むなど対象として、関するさまざまな問題に対応できる人材育成を目指す。

超音波検査や新生児の蘇生方法など、周産期医療の専門的な内容に加え、助産師が通常の教育課程では学ばない教材も用意。不妊症や不育症で悩む人への接し方や、産きやまない赤ちゃんを揺らして脳や神経に損傷を与える「シェイクンベビースンドローム」の防止と

たタブレット端末やスマートフォン(多機能携帯電話)からもアクセスでき、助産師、産院、保健師、子育てグループなどが自然な形で連携を深められるようにする。

事業を進める同研究科の中塚幹也教授(生薬医学)は「お産とその周辺の問題が多様化する中、支援する側にもさまざまな

「シェイクンベビースンドローム」の防止と



な知識や経験が求められ、地域での支援体制を充実させる一助になれば」と話している。

セミナーの動画配信も